

第22回サイコロロジー研究会

主催 : 日本レオロジー学会 サイコロロジー研究会

日時 : 2019年11月22日(金) 13:30~17:00

場所 : DIC株式会社 本社2F 大会議室 No.2

(正面入口に入って右手の階段で2Fに上り、右手の喫茶コーナー脇の通路を奥に進んで下さい)

住所 : 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル

アクセス : JR東京駅 八重洲中央口より徒歩5分 または 東京メトロ日本橋駅 B1出口より徒歩2分

定員 : 約50名 (基本は先着順ですが、場合によっては懇親会に参加する方を優先させていただきます)

プログラム :

13:30-14:30

1. レオロジーを活用して「塗りやすい」を追求しよう!

(日本ペイント) 井賀 充香 様

塗膜が美観や保護機能を発揮するには、塗装、塗膜形成工程の制御が必須です。これを「塗装作業性の制御」と言います。例えばローラー塗装では、塗料が被塗物に転写されやすいこと、平滑に仕上がることなどです。塗装作業性は属人性が高いため、その感性を数値化、解析して塗料を開発することが必要です。ここでは、我々はレオロジー解析を活用しています。今回は、レオロジーの基礎と塗料開発の事例を紹介します。

14:35~15:35

2. 化粧品開発における触感計測

(資生堂) 荒川 尚美 様

生活者が化粧品の良し悪しを判断する一つに、触感の良さがある。生活者の主観的な言葉で表現された触感は物性状態を具体的に理解するのは難しい。そのため、生活者が自身の指を通して感じる触感の物性状態を知ることにより、物性を客観的かつ定量的に評価することが望まれている。そこで、筆者らは指の替わりとなる触センサを開発し、触感ワードと物性との関係を知るための客観的な定量評価を実現してきた。本講演では触センサの開発・研究事例を紹介する。

15:35-15:55 20分休憩

15:55-17:15

3. 化粧品開発へのレオロジー測定手法の応用：力学感触計測での例

(花王) 名畑 嘉之 様

化粧品使用時に感じられる真に力学的な感触は、塗布動作等に伴う化粧剤や化粧膜の変形(歪みや歪み速度)と生じる抵抗力(応力)との関係を言葉として表現したものと考えた。レオメータを使用し、感触認知時の状況を考慮した計測を工夫し、普通に計測すれば結果が得られる例に加え、測定自体が難しい棒状口紅や固形ファンデーションの計測、塗布段階(初期・中期・後期)に応じた計測、及び形成される化粧塗膜を想定した計測例についても紹介する。

懇親会(予定) :

17:30-19:00

場所 : PRONTO 八重洲日本橋三丁目店

住所 : 東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル1F TEL : 03-3242-3760

※ 参加人数によっては、懇親会の場所は変更になる可能性があります(参加費は変更ありません)。

参加費：

研究会参加費：3,000円（学生 1,000円）

懇親会参加費：3,000円（学生 2,000円）

問い合わせ・申し込み先：資生堂グローバルイノベーションセンター アドバンスリサーチセンター 那須 昭夫
〒220-0011 横浜市西区高島 1-2-11

TEL: 070-3859-1905, E-mail: akio.nasu@to.shiseido.co.jp

研究会会場



DIC 株式会社 本社 2F
大会議室 No.2



懇親会会場



PRONTO
八重洲日本橋三丁目店
(DIC から徒歩約5分です)